



メニュー情報は裏表紙に掲載しています。

三菱食品通信

株主・投資家の皆様へ

2021年度 通期報告 2021年4月1日～2022年3月31日

証券コード 7451

機能の高度化を通じ、付加価値の高いサービスを提供することで 新たな成長と収益の拡大を図ってまいります

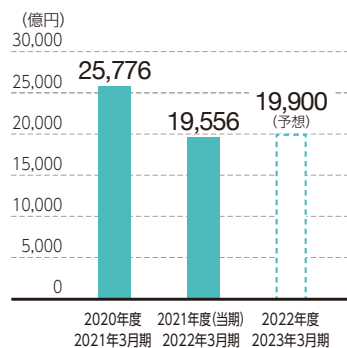


代表取締役社長
京谷 裕

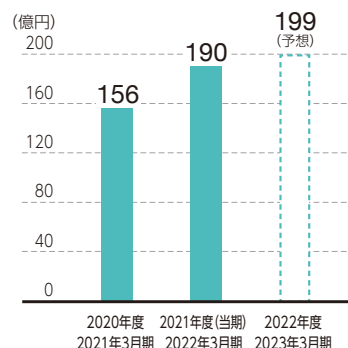
Q. 2021年度の業績について教えてください。

A. 2021年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が断続的に実施されたことなどにより、経済活動は落ち込みと持ち直しを繰り返しました。このような状況下、当社売上高は、CVS業態向けを中心に一部においては回復基調が見られたものの、前年度の家庭内食品需要の反動減や取引の見直し等により、1兆9,556億1百万円となりました。一方、利益面につきましては、小売業との取り組みによる配送回数の削減や積載効率の向上等の物流諸施策の実施、また、デジタル技術活用による生産性向上に努めた結果、物流費が改善し、営業利益は190億36百万円（前年同期比21.9%増加）、経常利益は203億71百万円（前年同期比20.5%増加）、親会社株主に帰属

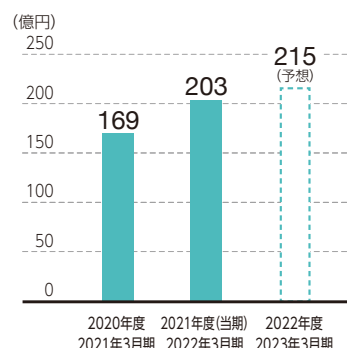
■売上高 1兆9,556億円



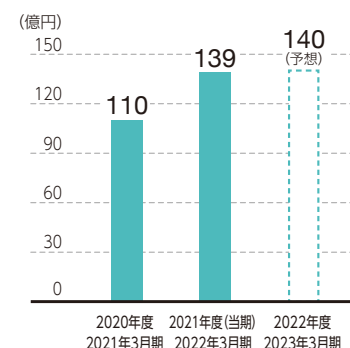
■営業利益 190億円



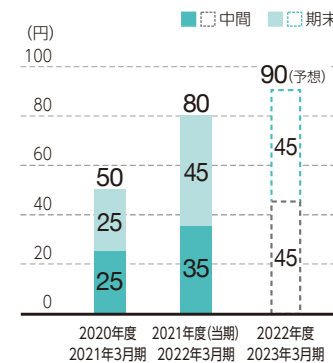
■経常利益 203億円



■親会社株主に帰属する当期純利益 139億円



■1株当たり配当金 80円



※ロボティック・プロセス・オートメーション：
ロボットによる業務プロセス自動化

財務情報の詳細データにつきましては、
三菱食品ホームページで
ご覧ください。
<https://www.mitsubishi-shokuhin.com/>

※ 億円未満切り捨て
※ 2021年度から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用したことにより、2021年度に係る売上高は当該会計基準等を適用した後の数値となっております

する当期純利益は139億49百万円（前年同期比25.9%増加）となり、過去最高益を記録しました。

Q. 「中期経営計画2023(中経2023)」の取り組み状況について教えてください。

A. 「中経2023」で目指す在り姿、「持続可能な食品サプライチェーンを支え続ける存在」であるために、当社は2022年4月に大きな組織改編を行いました。従来の商品カテゴリー別組織を改め、「東日本営業統括」「西日本営業統括」「広域営業統括」を中心とするエリア統括制に組織改編するとともに、新設した「商品統括」の下、全商品カテゴリーを管掌することに加え、「商品開発機能」を強化する体制としました。さらに「次世代事業統括」も新設し、DXによる生産性向上と顧客価値創出を加速します。

次に、「中経2023」における機能強化の取り組みの事例をご紹介します。まずはリテールサポート機能やメーカーサポート機能の強化策として、「効率化DX」の推進に取り組んでいます。具体的には、AIやRPA*の活用による社内業務の効率化や、物流センターでのAI需要

予測による発注自動化のほか、他食品卸様と連携を図り、食品卸業界全体で非競争領域を共通データプラットフォームに集約し、効率化・ロス削減を目指しています。また、当社が独自に蓄積してきた過去の出荷データと外部データ活用による新たな顧客価値の提案・創出に取り組んでいます。

オリジナル商品開発につきましては、コロナ禍における健康志向を追い風に「からだシフト」シリーズが順調に推移していますが、引き続き生活者ニーズに即したブランドの構築や、環境配慮型包材への切り替え、食品ロス削減につながる商品など、特に持続可能を意識した商品開発を推進してまいります。

さらに、当社は昨年末に「サステナビリティ方針」を制定し、重点課題と2030年目標を見直すとともに「2050年カーボンニュートラルの実現」を掲げました。今後も、食品取り扱い企業におけるサステナビリティ取り組みトップ企業を目指して、社会課題の解決と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご支援とご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

持続可能な未来への取り組み

「サステナビリティ方針」制定と 「サステナビリティ重点課題と2030年目標」を 見直しました

▶ サステナビリティ方針

企業理念である「三綱領」の考えの下、社会課題の解決・社会的責任を重視したサステナビリティ経営を行うために、2021年12月23日付で「サステナビリティ方針」を制定しました。

私たち三菱食品グループは、食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現を目指し、

- 1 地球環境の保護を含む社会課題の解決と、持続可能な社会の実現に貢献することで、三菱食品グループに係る全ての人々の人生を豊かにしていきます。
- 2 人権及び多様な価値観・個性を尊重します。
- 3 社員を最大の財産と考え、社員の健康、安全で快適な労働環境の実現、多様な働き方を尊重することで、ワークとライフの充実と個人の能力開発を促進します。
- 4 国際ルールや関連する法令を遵守するとともに、公正で透明な企業統治を行います。
- 5 ステークホルダーとの対話を積極的に行うとともに、企業情報を適時・適切に開示します。
- 6 生活の基盤となる食のライフラインを担う企業として、食の安全・安心・安定供給を常に維持するため、社会や環境を意識したサプライチェーンを構築します。
- 7 日本や世界各地域の豊かな食文化を育むことを通じて、全ての人々が健康に暮らせる環境づくりに貢献します。
- 8 社会の課題・ニーズの変化に対応した、社会貢献活動を継続していきます。

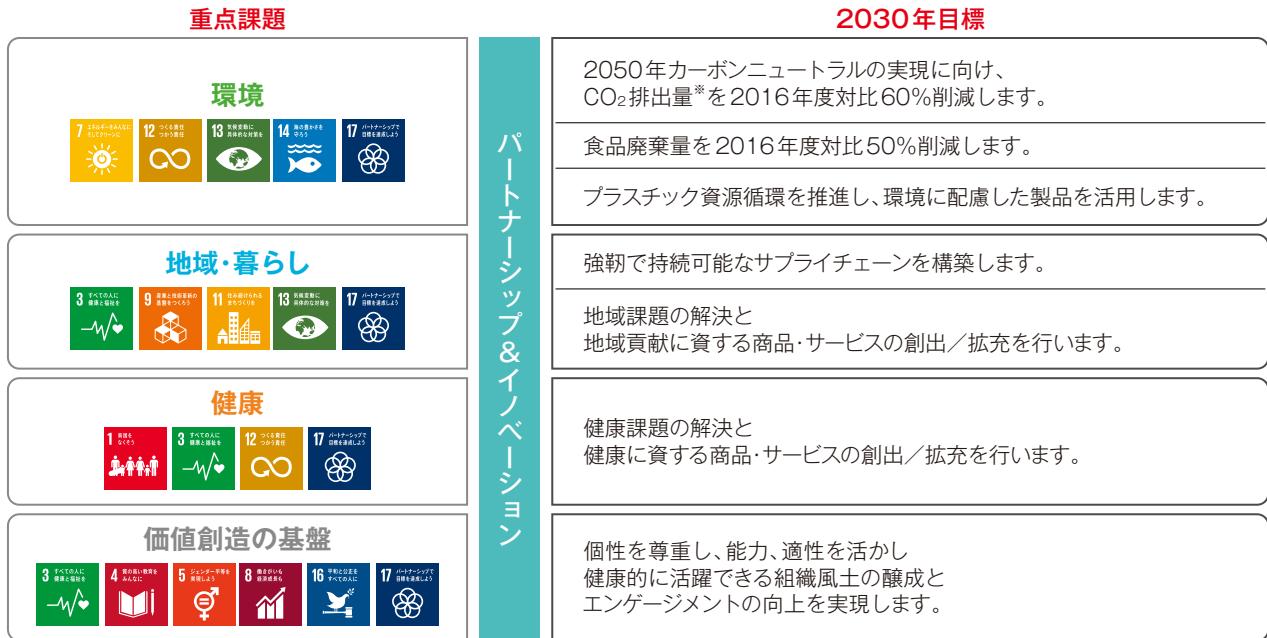
「中期経営計画2023」に掲げたパーパス「食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献する」に根差したサステナビリティ経営を実践すべく、三菱食品グループ※の「サステナビリティ方針」の制定と、直近の社会環境の変化を踏まえた「サステナビリティ重点課題と2030年目標」の見直しを行いました。

※三菱食品及び全ての子会社

▶ サステナビリティ重点課題と2030年目標

本年3月に「サステナビリティ重点課題と2030年目標」を見直し、開示しました。

この中で「2050年カーボンニュートラルの実現」を掲げ、CO₂排出量削減目標を引き上げています。CO₂排出量は、2016年度対比25%削減から60%削減に改めています。



※Scope1（事業者自らによる温室効果ガスの直接排出）及びScope2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）による排出量

▶ 2030年目標に向けて。取り組み事例

環境 CO₂排出量と食品廃棄量の削減に向けて

①環境配慮型電力への切り替え

電力会社との契約が当社名義となっている全国9エリア全ての電力について、2022年度の契約をCO₂排出係数ゼロの環境配慮型電力契約に切り替えました。



②環境配慮型車両の試験導入

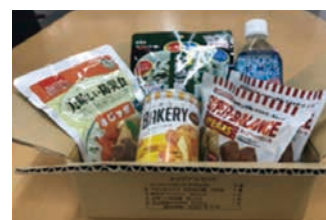
当社連結子会社であるキャリテック株式会社(物流運営業)に、非化石燃料車(電気モーター／リチウムイオンバッテリー車両)を2台試験導入しました。走行時のCO₂排出ゼロを実現しています。



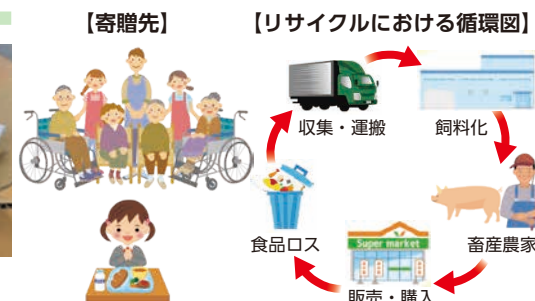
走行可能距離: 100km (フル充電)

③災害用備蓄食料の寄贈及びリサイクル

賞味期限まで3カ月以上ある災害用備蓄食料を、希望する小学校・児童施設・特別養護老人ホームへ寄贈、寄贈対象外は家畜の飼料にリサイクルすることで、食品ロス削減に貢献しています。



これまで18,000食分を寄贈、14,000食分をリサイクル



地域・暮らし 強靱で持続可能なサプライチェーンの構築のために

物流倉庫内の作業を可視化

暮らしを支える強靱なサプライチェーンづくりの一環として、物流DXを推進。物流倉庫内の作業を可視化するアプリを導入し、生産性や収支を簡単・ムリなく・正確にデジタル化し、管理しています。



タブレットにQRコードをかざすだけで「誰が・何を・何分」という情報を記録

健康 貧困・飢餓の撲滅と健康課題の解決を目指して

レッドカップキャンペーンに参加

貧困・飢餓の撲滅を目指し、WFP 国連世界食糧計画の「学校給食支援」を応援。対象商品の売上の一部を寄付し、世界の子どもたちに食と笑顔を届けています。



対象商品

- かむかむレモン 30g
- ララ・キット全商品 (10SKU)
- からだシフト全商品 (58SKU) など



価値創造の基盤 健康的に活躍できる組織風土の醸成のために

健康経営の実践へ

役職員の健康を最大の財産と考え、役職員が情熱を持って活躍できる風土づくりを健康面から支え、活力向上、組織の活性化を目指しています。

※困難な状態に陥っても、「何とかなる、この仲間となら乗り越えられる」という感覚

健康経営宣言

「明るく・楽しく・元気よく、そして前向きに」

世界保健機関が提唱する健康における定義を目指すとともに、主体的行動や、ワークとライフの双方を自分自身でコントロールすることも、健康と感じられる要素として追加で定義しています。「肉体的健康」「精神的健康」「社会的健康」「主体的行動」「ライフとワークのコントロール」の5つの要素が高まれば、自然と自己効力感[※]が向上し、当社が目指す健康経営宣言を実現できると考えます。

健康経営優良法人2022の認定

経済産業省と日本健康会議が共同で顕彰する「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に認定されました。2020年の初認定より、3年連続での認定です。



オリジナルブランド春夏新商品のご紹介

ライフスタイルの変化により、フローズンフードの需要が伸長しています。
当社の低温オリジナルブランドも日々進化し、好評を得ています。



ララ・キット

冷凍おかずセット 本年3月に新商品を発売

単身者向け For me

「牛肉と彩り野菜のビビンバ」

牛肉とニンジン、小松菜、モヤシとタレをセットにした本格的なビビンバ用キットです。コチュジャンを効かせたピリ辛のしっかりした味付けで、ご飯と具材がよく混ざるように牛肉のサイズにもこだわりました。



温泉卵のトッピングで
さらにおいしく!



黒酢ソースをたっぷり
絡めて召し上がれ!

2人世帯向け For シェア

「アジ竜田揚げとかぼちゃの黒酢ソース」

しょうがが香る和風のタレに漬け込んだアジ竜田をカリッと焼き、かぼちゃ、パプリカ、玉ねぎと一緒に炒めて仕上げるメニュー。フライパンで香ばしく焼いたアジ竜田にオリジナルの黒酢ソースがよく絡みます。アジの切り身に下味を付けて粉をまぶしてあるので、「下ごしらえが面倒」という理由で魚料理を敬遠している方にもおすすめしたい商品です。



粉碎加工した珈琲豆を、
スポンジとマスカルポーネ
クリーム部分に使用



アンドミータイム

「フローズンアワード2022」で 銀賞受賞

バイヤー 100 名が、魅力と価値のあるフローズンフーズのグランプリを決める「フローズンアワード2022」で、当社の「&me time」がスイーツ部門で銀賞を受賞しました。

受賞商品は、猿田彦珈琲の焙煎した珈琲豆を使用した『珈琲ティラミス』。濃厚なクリームに珈琲豆がふわりと香るリッチな味わいが特徴です。

今回で「&me time」は、2年連続の入賞となりました。当社は、さらに高品質な商品の開発に向けて、取り組みを強化していきます。

個人投資家向け説明会を実施

本年3月16日に、個人投資家向け説明会を実施。卸売業の機能や業界の動向に続き、当社のカテゴリ別売上高、「中期経営計画2023」の全体像、今後の施策などを発表しました。



説明会の模様は、動画でも配信



三菱食品

■株式の状況

(2022年3月31日現在)

株式の総数

発行可能株式総数

140,000,000株

発行済株式の総数

43,537,200株

(自己株式347株含む)

一単元の株式の数

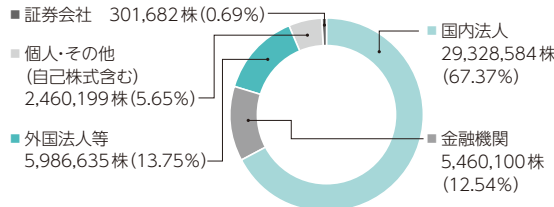
100株

株主数

4,572名

(前期末比162名増)

所有者別株式分布



(注)「個人・その他」には自己株式347株を含んでおります。

株主メモ

事業年度

：毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主確定日

：毎年3月31日

中間配当金受領株主確定日

：毎年9月30日

定時株主総会

：事業年度末日の翌日から3カ月以内に開催

株主名簿管理人

特別口座 口座管理機関

：三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1

電話 0120-232-711 (通話料無料)

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所

：東京証券取引所

公告の方法

：電子公告により行う

公告掲載URL

https://www.mitsubishi-shokuhin.com/

(ただし、電子公告によることができない事故、その他

のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に

公告いたします。)

大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱商事株式会社	21,816	50.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,725	6.25
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C USL NON-TREATY	1,147	2.63
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,092	2.51
日本水産株式会社	809	1.85
株式会社ニチレイ	700	1.60
マルハニチロ株式会社	686	1.57
サントリー酒類株式会社	669	1.53
ハウス食品グループ本社株式会社	611	1.40
テーブルマーク株式会社	600	1.37

(注) 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

お知らせ

●株式事務のお問い合わせについて

株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつ

きましては、口座を開設されている証券会社等にお問

い合わせください。

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつ

きましては、左記株主メモに記載の三菱UFJ信託銀行証

券代行部にお問い合わせください。

●配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領

収証」により配当金をお受け取りになられる株主様宛

にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当

金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確

定申告の資料としてご利用ください。

なお、株式数比例配分方式を選択されている株主様の

配当金のお振込先等につきましては、口座を開設され

ている証券会社等にお問い合わせください。

●未受領の配当金について

左記株主メモに記載の三菱UFJ信託銀行証券代行部

にお問い合わせください。

■会社の概要

(2022年3月31日現在)

商号

三菱食品株式会社

本社

東京都文京区小石川一丁目1番1号

資本金

10,630,291,250円

従業員数

連結4,944名、単体4,167名

事業内容

国内外の加工食品、低温食品、酒類及び菓子の卸売を

主な事業内容とし、さらに物流事業及びその他サービス等の事業活動を展開

主要な事業所



当社の情報はホームページでもご覧になれます。

<https://www.mitsubishi-shokuhin.com/>



■役員(取締役・監査役)

(2022年6月27日現在)

代表取締役

京谷 裕

取締役

榎本 孝一

取締役

田村 幸士

取締役

細田 博英

取締役

川本 洋史

取締役

加藤 亘

取締役

柿崎 環

取締役

手嶋 宣之

取締役

吉川 雅博

監査役(常勤)

山川 幸樹

監査役(常勤)

海上 英治

監査役

神垣 清水

監査役

高橋 吉雄

(注1) 取締役 柿崎環氏、手嶋宣之氏、吉川雅博氏は社外取締役であります。

(注2) 監査役 海上英治氏、神垣清水氏は社外監査役であります。

マイナンバー制度に関する手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関

係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、

お取引の証券会社などへマイナンバーをお届いただく

必要があります。

●株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書に株主様のマイナ

ンバーを記載し、税務署へ提出します。

●マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券会社の口座で株式を管理されている株主様

お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とのお取引がない株主様

下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

0120-232-711

MS ORIGINAL BRAND

三菱食品が開発を手がける

オリジナルブランドをご紹介します。



からだシフト
Facebook



からだシフト
Instagram



手軽に美味しく、たんぱく質を補給 「大人のお子様ランチ」

今回ご紹介するのは、『PROTEIN PLUS ハンバーグデミグラスソース』を使った、「大人のお子様ランチ」です。

『PROTEIN PLUS ハンバーグデミグラスソース』は、野菜の旨みと甘味が際立つコク深いふっくらジューシーなハンバーグ。1食 (150g) 当りたんぱく質 14.9g(※) を摂ることが可能。

この商品に、エビフライやスクランブルエッグ、彩り良い野菜を加えるだけで、手間も省け、たんぱく質も摂れる！「大人のお子様ランチ」の完成です。 ※ 2022年6月時点



PROTEIN PLUS
プロテインプラス

2022年春、からだシフト“たんぱく質シリーズ”は、より本格的に美容・健康・からだづくりを意識した方に向けた「PROTEIN PLUSシリーズ」としてリニューアルしました。

ライフスタイルに合わせてプロテインを手軽にプラスし1日を通してバランス良く摂取することで、健やかなからだづくりをサポートします。



ふっくらジューシーな食感のハンバーグ



全国の量販店、
コンビニエンスストア、
ドラッグストアで販売。
ECサイトからの
購入も可能です。

詳しいレシピはこちらから



からだシフト
ブランドサイト

Copyright©Mitsubishi Shokuhin Co., Ltd. All Rights Reserved.



見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

